

œuvre gravé

JOAN MIRÓ

目黒展

版画の全貌

20世紀を代表するスペインの巨匠として、ピカソ、ダリと並び称されるジョアン・ミロ(1893～1983)。彼は、故郷カタルニアの風土にこだわり、大地にインスピレーションの源を求めるとともに、自然との交感を通して太陽、月、星、鳥などを独特の抽象的要素に変換し、詩的で宇宙的な世界を表現した芸術家です。

生涯を通して、油彩はじめ、版画、彫刻、陶芸、壁画、タペストリー、舞台装飾に至るまで幅広く手がけており、特に版画は、35歳になってから本格的に取り組み始めましたが、以後、油彩と並ぶ彼のライフワークとなりました。

彼は技法の探求と実験を繰り返し、新たな創造の地平を切り開くべく2,500点以上もの作品を世に送り出したのです。

本展は、ミロの版画第1作『一羽の小さなカササギがいた』を含む初期から晩年までの選り抜かれた145点の作品で構成されています。版画芸術を通して、造形詩人と謳われたジョアン・ミロの世界を紹介します。



②



①



④



⑤



③

①『一羽の小さなカササギがいた』(リーズ・イルツ著) 1928年 ②《反逆者》1967年
③《月の前の女と犬》1936年 ④『「アリエール・ル・ミロワール」誌第87-88-89号14-15ページ】1956年
⑤『「金色の羽根を持つカゲ」口絵】1971年 ©Successió Miró-Adagp, Paris & SPDA, Tokyo, 2010

関連事業

◆美術講演会 「版画から見るジョアン・ミロの世界」

講師:大森達次氏(女子美術大学教授)
日時:8月28日(土) 午後2時～3時30分
会場:当館講堂(聴講無料)

◆特別展セミナー 「ミロの芸術 ～残した言葉を手がかりに～」

講師:園部容子(当館学芸員)
日時:9月11日(土)、9月25日(土) いずれも午後2時～3時
会場:当館講堂(聴講無料)

◆ワークショップ 「音楽を聴きながら絵を描こう」

講師:NPO十勝文化会議美術部会員
日時:9月12日(日) 午後1時30分～
会場:当館講堂(参加無料、事前申込制)
詳しくは0155-22-7555までお問い合わせください。

◆松本道子ダンス・パフォーマンス

出演:松本道子氏ほか
日時:9月23日(木・祝) 日没頃
*雨天決行、夜間開館(詳しくは0155-22-6963までお問い合わせください)
会場:当館庭(入場無料)

◆キッズ・ミュージアム 「ぼくもわたしもミロだ!」

託児室を開設します。お子さまが工作を楽しんでいる間、ゆっくりと鑑賞ください。
日時:10月2日(土) 午後2時～4時(受付は午後3時30分まで)
会場:当館講堂(託児無料)

◆ミュージアム・ミステリー2010オースタム 「ミロを見てミロ。やってミロ。」

クイズや工作をととして楽しく美術と触れ合う体験プログラムです。
日時:10月9日(土)、10月16日(土) いずれも午前11時～午後3時
対象:小学校3～6年生 各30名(事前申込制)
会場:当館講堂・主展示室など
参加料:570円(観覧料、昼食代【カレー】)
申込方法:9月24日(金)午前10時以降、電話にて帯広美術館(0155-22-6963)までお申込ください。
定員になりしだい締め切ります。

◆ミュージアム・コンサート 「フラメンコ・コンシェルツ」

出演:(未定)
日時:10月17日(日) 午後2時～
会場:当館ロビー(入場無料)



[交通]

バス:拓殖バス(帯広駅バスターミナル②番より)
【14 ニュータウン23条線】
【16 帯広の森線】
【17 南商業高校線】
乗車16分で「緑ヶ丘6丁目・美術館入口」
下車徒歩4分
タクシー:JR帯広駅より約10分
駐車場:緑ヶ丘公園駐車場(無料)

[お問い合わせ先]

北海道立帯広美術館

〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地 緑ヶ丘公園
tel.0155-22-6963

十勝毎日新聞社事業局

〒080-8688 帯広市東1条南8丁目2番地
tel.0155-22-7555

前売券 発売所

帯広美術館売店、勝每本社窓口、勝毎サロン(藤丸7階)、藤丸チケットぴあ、長崎屋帯広店、サ・本屋さん(帯広地区)、NCおびひろ、日専連ジェミス、帯広市教育委員会、神田日勝記念美術館、ローソンチケット(Lコード12910)、チケットぴあ(Pコード764-232)、セブンイレブン

同時開催 コレクション・ギャラリー

ふしぎ...!? 謎解き美術館

2010年8月28日(土)～2011年1月19日(水)